

## 「大溝の水辺景観 まちづくり協議会」 をご存知ですか?

「大溝の水辺景観まちづくり協議会」は、平成27年1月に、「大溝の水辺景観」が国の重要文化的景観に選定されたことをき、かけに立ち上がった団体です。高島市から業務委託を受け、「大溝の水辺景観」を活かしたまちづくり活動を行っています。現在、会員は19名です。

### ① わがまちについて みんなが学ぶ

活動1年めの昨年は、4回シリーズの勉強会「大溝ぶらり学」を開催し、地元の方を講師として地域の価値や魅力についてお話し頂きました。田町内を中心に、たくさんの方に参加して頂き、みんなでこの地域の面白さを感じ合いました。

協議会はこんな活動をしています。

### ② 地域の魅力を アウトへ発信!

大溝の魅力を詰めこんだ「地元のおもてなしツアー」大溝湖田(うみまち)ものかたりに企画しました。1回目は「発酵食」、2回目は「舟」をテーマに、ご協力頂いた皆さんのお陰で、ここにしかない大溝ならではのツアーができあがりました。新館にも耳より上げられ、参加者の方々にも大変好評、頂きました。

### ③ 未来へバトンをつなぐしくみづくり

今年特に力を入れているのが「まちあるきガイド養成講座」です。日本遺産に認定され、ますます注目度の高まる「大溝の水辺景観」と「白川神社」ですが、ここに来られた方に、きちんと価値をお伝えしながら、まちにお金もおとしてもらえるしくみを目指して、ガイドさんとともに少しずつ形にしています。

## おおみそこみそ物語 no.4

テーマ:「ひわ湖がつなぐ東西南北」

大溝は天然の良港があったために、古代には大陸と都を結ぶ国際航路の一部となり、周辺で詠まれた万葉歌もたく、単独国時代には信長の軍事ネットワークに組み込まれるなど、歴史に度々登上する重要な地でした。今では「ひわ湖の船」イコール漁船や観光船というイメージですが、かつては人々の移動、物資運搬、軍事etc...あらゆる面において欠かせないものでした。単独後、金失道・自動車交通が主流になるまでの、過去2千年間、「船」とともに生活していた時代にはひわ湖は、対岸の彦根・長浜との間に横たわる「バリアー」ではなく、ひわ湖があるからこそ、東西南北各地がつながっている...そんな感覚があったのではないのでしょうか。

### 広告欄

十月二十七日(日)十時半〜十五時/五島/四十名まで/申込問合せは総門まで。

## 「大溝ぶらり学が帰ってくる。」 「神秘の山城(打下城と長法寺)」 を学ぶ編 開催します。

今年6月に、  
大溝の水辺景観  
まちづくり協議会、  
事務所が...

の事務所が...

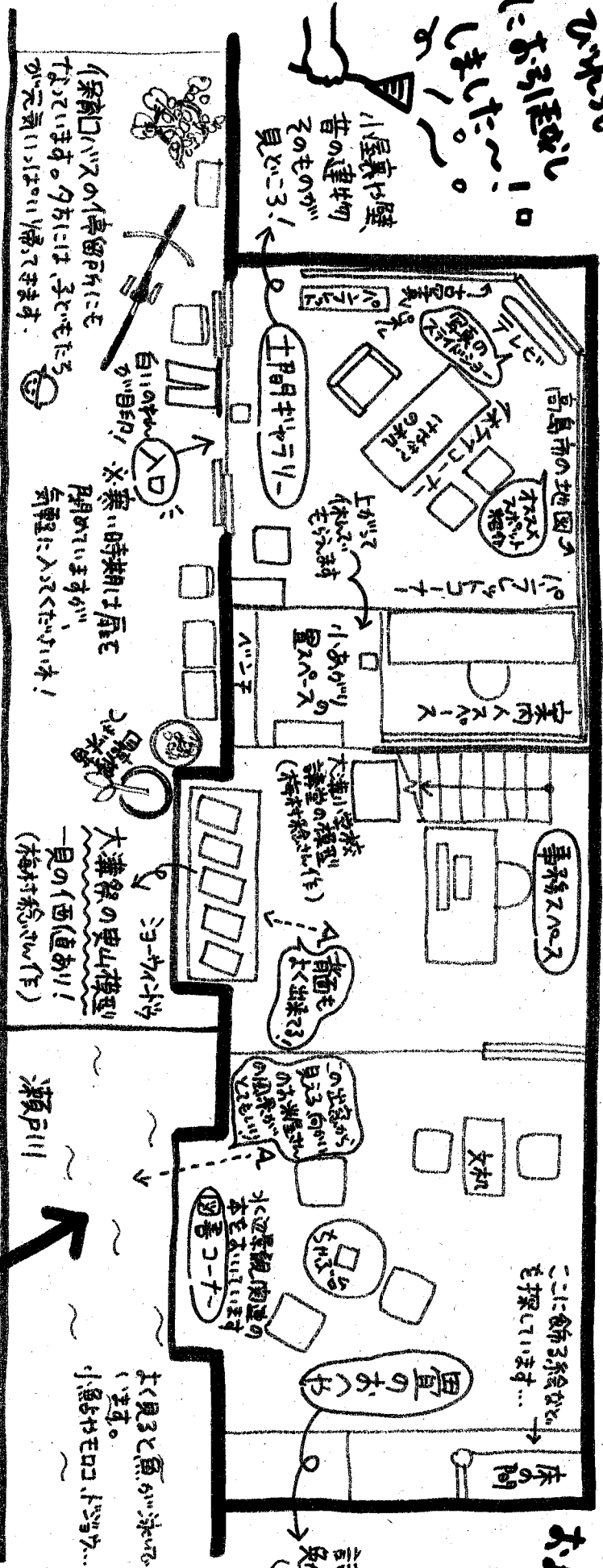
ひんがし → 総門  
にお引越しまし  
ました。

# 大溝まち並み案内 総門

## 朱 = 70% しています。

＜ 開館時間 10:00 ~ 17:00 ・水木曜定休 ＞

初めて高島に  
来られた方などに  
まちの案内を  
しています。  
事務所を70%  
休日に、気軽に  
おまわり下さい。



☆ 総門 早にユアワ

大溝城の北西部にユアワがついていた、武家屋敷地への出入りに  
使用されていた正面門です。現在の総門は宝暦五年(1755)  
に改修された時のものとみられています。大溝陣屋関連の唯一の  
遺構として市指定文化財になっています。

今、総門の右側に  
高島文化センター  
が建ちました。  
高島文化センター  
が建ちました。

話し合いをしたり  
勉強会をしたり  
しています。



大見ると魚が泳いで  
います。  
小魚とモロコ、トツカ...



瀬戸川

コッチ側は...